

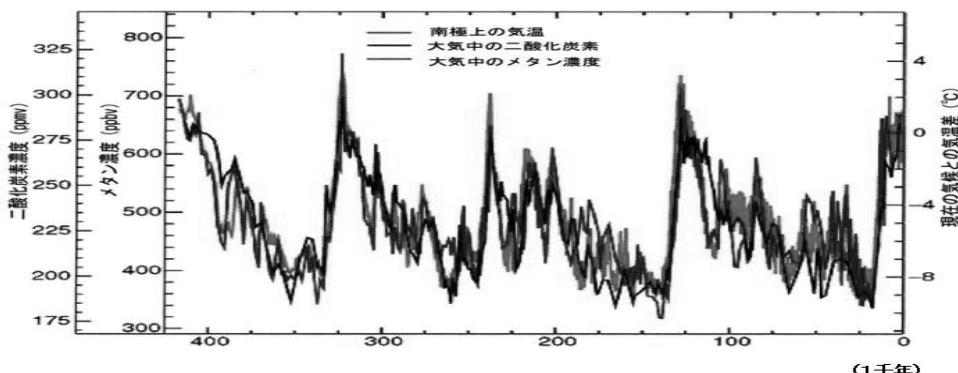
解説

「地球温暖化」のQ&A

千曲市でも地球温暖化は起こっているのですか？

起こっています。下のグラフに示したように、もともと地球は約10万年の周期で氷河期と間氷期とを繰り返しています。この時の寒暖の差は、約10°Cありますから、地球温暖化問題で言われる1°Cや2°Cは問題でないようと思われがちです。しかし、地球温暖化問題は温度の変動幅ではないのです。温度の変化率が問題なのです。

82頁に長野気象台がある長野市城山の過去44年間の平均気温を図示しました。このグラフからも判るように、過去44年間でちょうど1°C上昇しました。地球の元々の気温変化が1万年で約1°Cですから、最近の気温の上昇は明らかに異常です。この主な原因は、人間が石炭や石油を大量に消費していることだ、と考えられています。

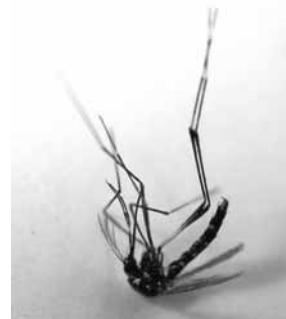


南極の氷中CO₂、メタンから推定した過去40万年の平均気温の変化

(IPCC三次報告書より)

他にも、温暖化の影響は、具体的にどんな事がありますか？

右の写真の足が長い蚊はヒトスジシマカと言います。この蚊は南方系の小型の蚊で、10年くらい前に南の方から広がってきて、千曲市内に侵入・定着したものと考えられ、今では普通に見られます。その後も分布域を北に伸ばして、現在は岩手県の中部にまで分布を広げています。地球温暖化で平均気温が上昇し、南方系のこの蚊が越冬できるようになった、



ヒトスジシマカ

と考えられています。この蚊はデング熱やデング出血熱などの病気を媒介するため、国立感染症研究所では注意を呼びかけています。

左の写真はシラカシという常緑の広葉樹です。以前は千曲市内の山には自生していましたが、現在では鏡台山の麓など市内各地で見られます。この木は南方系の樹木で、温暖化の影響で冬越しできるようになったと考えられます。



シラカシ

● ● ●

それならどうして世界中で温暖化防止に取り組まないのですか？

● ● ●

米国は京都議定書に反対していますが、地球温暖化の大きな原因が人間の手による化石燃料（石炭や石油）の燃焼による事は、科学的にはほぼ明らかになっています。

国際的に対立しているのは、科学の問題ではなくて政治の問題です。米国は地球温暖化対策が自国の経済を圧迫する事を警戒していますし、発展途上国は日本や欧米がこれまでの責任を負うべきで、自分たちの発展を規制されるのは不平等だと主張しています。

政治的な解決も重要ですが、地球温暖化防止対策の遅れは深刻です。

このまま地球温暖化が進むと、異常気象になると聞きますが本当ですか？

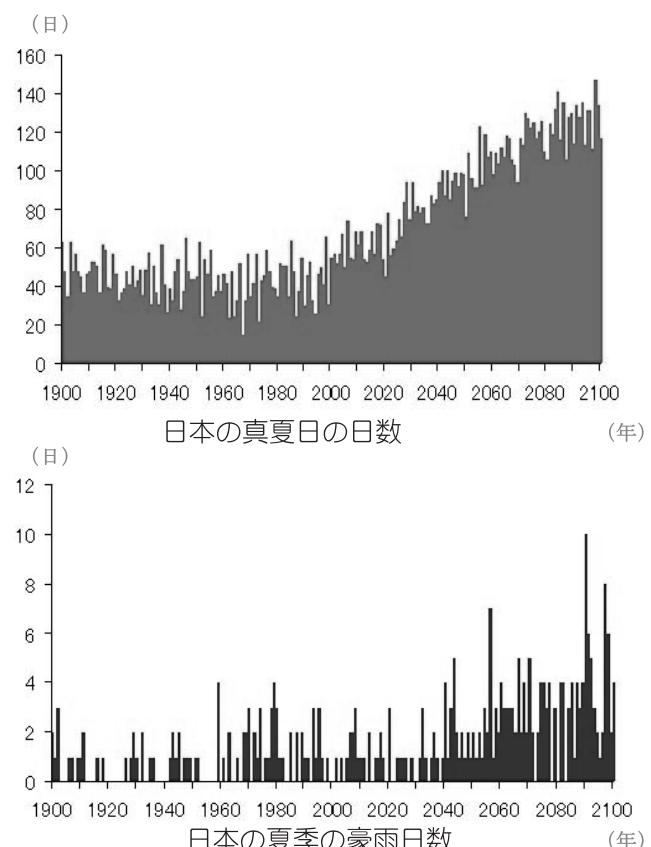
真夏日が続いたり、冬にどか雪が多いと、すぐ「異常気象だ」と騒がれたりします。それらの高温や豪雪がすぐ異常気象のものかどうかの判断はつきかねます。ただ、全体的に異常気象が増える、ということは事実のようです。

右の二つの図は、東京大学気候システム研究センターなどが世界最速といわれるスーパー・コンピューターで行なった気候のモデル実験です。このシミュレーションではこのまま地球温暖化が進むと 30~40 年もすると明らかに異常気象が増えると予想されます。

循環型の地域社会づくり



イラスト：小野寺晶子



じゃあ、どうすればいいんですか？

答えははっきりしています。自分でできるところから、地球温暖化の影響を減らしていくことです。その 1 つの考え方方が、循環型の地域社会づくりです。自然のエネルギーを上手に使ったり、無駄を抑えて生活する工夫が必要です。

とにかくこの千曲市にいる私たちがまず始める事。すべてはここからスタートです。